

第9章 感染症・予防接種

感染症

平時の感染症予防と感染症法に基づく迅速で的確な対応ができるよう各関係機関との連携強化を図った。平成28年度中の感染症（結核を除く）発生届出件数は11件（11人）であった。類別にみると、3類感染症は腸管出血性大腸菌感染症2人、4類感染症はレジオネラ症5人、5類感染症は梅毒4人であった。

また、施設等における感染性胃腸炎の集団発生報告が12件あり、情報収集、疫学調査の実施などにより感染源及び感染経路対策、二次感染予防等の防疫対応を行った。

予防接種

予防接種は、感染症予防対策を推進する上で感受性対策として重要であることから、ワクチンに関する正しい知識の普及に努め、被接種者をはじめ関係者の理解を得つつ積極的に推進しているところである。